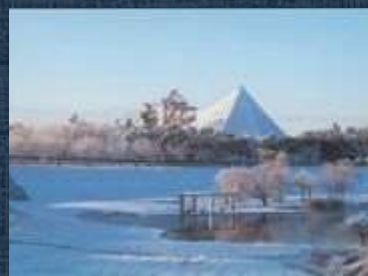


越谷市景観写真コンクール 受賞作品集



越谷市景観写真コンクールについて

越谷市景観写真コンクールは、市民の越谷らしい景観の保全や改善への意欲の高揚を図るとともに、越谷の景観を広めることを目的として、平成22年（2010年）から平成30年（2018年）まで9回にわたり、実施してきました。9回の実施で、総応募者数261名、総応募数802作品の応募がありました。

【募集要項】

▼応募資格

越谷市に在住、在勤、在学している方、越谷市で活動している方。
※年齢は問わない

▼募集作品

越谷市内から撮影した越谷市内外の景観で、良好な景観を形成する要素となる景観資源の発掘につながる写真とする。なお、応募作品は未発表のものとする。

<例>

- ・人物を主な被写体とせず、周囲の風景を含めた人々の活動（活動景観）
- ・一団の住宅地で良好な景観を形成している地区等（街並景観）
- ・公共建築物、歴史のあるものや近代的な建築物、工作物等（建造物景観）
- ・動植物を主な被写体とせず、樹木、川、夕日等の景色（自然環境景観）
- ・上記を組合わせた総合的な風景、上記以外のその他景色（総合景観）

▼表彰

越谷市の良好な景観がよく表現された作品や、景観資源の発掘につながるものを表彰の基準とし、各回において最優秀賞1作品、優秀賞3作品、入選5作品を選出した（第1回を除く）。

※なお、本写真集における撮影場所などは
応募情報に基づき記載をしています。



越谷特別市民
ガーヤちゃん

第1回(平成22年度) 受賞作品



最優秀賞「花田苑雪化粧」

撮影者：藤田 文枝様

撮影場所：花田苑

《講評》

冬は木々も葉を落とし寒々とした雰囲気漂う中、「自然界からの贈り物、雪」という隠し味加わり積雪による「雪化粧」したことで視覚が変化し、新たな感動を抱かせる作品です。



優秀賞「元荒川の夕焼け」

撮影者：鈴木 克規様

撮影場所：北越谷第五公園周辺

《講評》

日没を迎える前の僅かな時間、水面の鳥も夕焼けを感じて、そろそろ帰りましょう？というように話し声が聞こえてきそうな雰囲気が漂う作品です。



優秀賞「藤棚」

撮影者：平山 美鈴様

撮影場所：久伊豆神社

《講評》

藤棚を大胆に取り入れ、人物を点景として作画したことで主題が強調され藤棚に集う人々の思いが伝わってくる作品です。



優秀賞「静寂」

撮影者：吉田 弘様

撮影場所：不動橋

《講評》

絶妙な時間帯を切り撮り、水面のカヌーもバランスよく配置され、明（日中）から暗（夜）に変わろうとする一瞬の静寂が表現されています。

第2回(平成23年度) 受賞作品



最優秀賞「光芒」

撮影者：豊田 己八様
撮影場所：相模町（不動橋）

《講評》
水郷越谷のシンボリックな元荒川と、若者が漕ぐボートに夕照がスポットライトのように美しく照らし、越谷の明るい未来を想像させられる作品です。



優秀賞「朝日に染る」

撮影者：大沢 誠様
撮影場所：川柳町五丁目地先

《講評》
近年、越谷市も開発が進み、何処でも見られた水田が市役所より2 km以内ではまったくみられなくなりました。この美しい水田風景をいつまでも残したいものです。



優秀賞「鯉のぼり泳ぐ元荒川河畔」

撮影者：島根 淑江様
撮影場所：不動橋（相模町）

《講評》
住宅が増えるにつれ、鯉のぼりを揚げられなくなり、自治会はじめ関係者のお骨折りで、年々増える鯉が元荒川を泳ぐ様子は壮観です。



優秀賞「イチョウのじゅうたん」

撮影者：平山 敏明様
撮影場所：総合公園（野球場わき）

《講評》
秋の数日しか見られない黄葉。人に踏まれていない黄色いじゅうたん、植木の緑のコントラスト、最高の時に恵まれ良かったですね。



入選「葛西用水とあじさい」

撮 影 者：黒田 貴一様
撮 影 場 所：しらこぼと橋側遊歩道



入選「虹」

撮 影 者：太田 由布樹様
撮 影 場 所：イオンレイクタウン



入選「故郷慕情」

撮 影 者：早川 恭介様
撮 影 場 所：元荒川不動橋下河原より
(相模町)



入選「逆川の雪景色」

撮 影 者：北村 敏明様
撮 影 場 所：東大沢



入選「台風一過」

撮 影 者：堀之内 稔様
撮 影 場 所：新方川大吉調節池付近

第3回(平成24年度) 受賞作品



最優秀賞「雪の朝の野鳥の森」

撮影者：加藤 満様
撮影場所：大吉調節池

《講評》

雪化粧した大吉調節池を前景に配し、背景を野鳥の森とした画面構成は絶景であり、野鳥の森のネットがピラミットの様にも見え幻想的な雰囲気有助長しています。



優秀賞「水面に映えるビルの夜景」

撮影者：坂口 武洋様
撮影場所：葛西用水周辺

《講評》

まさに水郷越谷を薄暮の時間帯に、水面も鏡面しビル群を反映して露出も適正で美しい夜景を構成しています。環境を保ち美しい眺めをいつまでも、と願います。



優秀賞「花田苑 お母さんと一緒に」

撮影者：齋藤 幸夫様
撮影場所：花田苑

《講評》

母子を点景に紅葉を配した画面構成は、後姿の娘の赤いズボンと母の差し伸べる手が有ってこそこの作品であり、点景の効果がよくできています。



優秀賞「新方川の越流」

撮影者：堀之内 稔様
撮影場所：新方川、大吉調節越流堤

《講評》

台風一過の朝、新方川が増水し越流堤を超えて調節池に流れる水は美しく紋を描き流れ、水に接近したレンズワークは遠近感があり、日常では見られない光景です。



入選「夏と秋に挟まれて」

撮 影 者：森崎 琢己様
撮影場所：越谷レイクタウン周辺



入選「水草におおわれた小舟」

撮 影 者：島根 淑江様
撮影場所：大杉の古利根川の河畔



入選「小春日」

撮 影 者：藤田 文枝様
撮影場所：総合公園内



入選「彼岸花としらこぼと橋」

撮 影 者：渡辺 次男様
撮影場所：しらこぼと橋（右岸）



入選「こもれび」

撮 影 者：北村 敏明様
撮影場所：花田苑

第4回(平成25年度) 受賞作品



最優秀賞「夢の中」

撮影者：豊田 己八様
撮影場所：増林

《講評》

都市化が進み田畑が無くなりつつある越谷に、屋敷林と曲がりくねった細い道、何処か里山を思わせる風景を上手く切り取った作品です。いつまでも残したい風景です。



優秀賞「風薫る」

撮影者：吉田 弘様
撮影場所：元荒川不動橋下

《講評》

初夏の風物詩、不動橋下流に泳ぐ鯉のぼり、川面に映る鯉のぼりがボートと一緒に泳いでいるような写真です。



優秀賞「夜桜」

撮影者：小寺 春樹様
撮影場所：城之上橋周辺

《講評》

桜の枝振りを大きくいれ、遠景にリユースの明かりと橋の明かりが川面に映りとても綺麗なところ。ストロボを使わず街灯の明かりで撮影したので良いと思います。



優秀賞「晩秋夕映え」

撮影者：藤谷 明様
撮影場所：大吉調節池親水公園

《講評》

市民の憩いの場所と親しまれている大吉調節池公園の赤く彩る1本のメタセコイヤその景色を見に来たようなカモの群れ、この公園のシンボルにしたいような木です。



入選「しらこぼと橋」

撮 影 者：服部 澄次様
撮 影 場 所：元荒川



入選「花の道を行く」

撮 影 者：齋藤 幸夫様
撮 影 場 所：元荒川右岸（南荻島文教大学前）



入選「新緑の道」

撮 影 者：齋藤 滋様
撮 影 場 所：総合体育館脇



入選「秋の穏やかな朝の大吉調節池」

撮 影 者：加藤 満様
撮 影 場 所：大吉調節池



入選「雪の朝」

撮 影 者：藤田 文枝様
撮 影 場 所：中央市民会館

第5回(平成26年度) 受賞作品



最優秀賞「川辺に遊ぶ」

撮影者：巻島 秀男様
撮影場所：不動橋付近

《講評》

川面の鯉のぼりと走る子ども、可愛いですね。風が弱かったので鯉のぼりが泳がなかったのが残念です。季節感がよく出た作品です。



優秀賞「水田に映る学び舎」

撮影者：伊藤 次夫様
撮影場所：千間台中学校東側農道

《講評》

越谷市でも大相模地区のように開発により田畑が無くなる地区は増えているようです。このような環境はいつまでも残したい風景です。作者の思いが伝わる作品です。



優秀賞「田植えの頃」

撮影者：小寺 春樹様
撮影場所：リユース周辺

《講評》

夕暮れ時リユースの煙突に明かりがともる頃、一番綺麗に見えるこの季節、この時間帯、ちょうど良い時に撮りました。



優秀賞「夕日に染まる」

撮影者：高橋 稔様
撮影場所：レイクタウン

《講評》

良く観察しています。12月の晴れた日富士山の頂上に太陽が沈む日があります。市内でも見られる場所が数ヶ所あるようです。夕焼けが水面を赤く染めてきれいです。



入選「冬の散歩道」

撮 影 者：石垣 隆夫様
撮 影 場 所：元荒川土手
(大成町一丁目付近)



入選「伝統の獅子舞」

撮 影 者：堀之内 稔様
撮 影 場 所：越谷市下間久里



入選「市街地を望む」

撮 影 者：平野 要蔵様
撮 影 場 所：しらこぼと橋附近



入選「越谷の夕日」

撮 影 者：吉田 弘様
撮 影 場 所：元荒川土手



入選「越谷巾着田」

撮 影 者：北井 和夫様
撮 影 場 所：しらこぼと橋水門

第6回(平成27年度) 受賞作品



最優秀賞「花火見物」

撮影者：小寺 春樹様
撮影場所：しらこぼと橋横

《講評》

澄んだ空、夜のまちなみ、水辺の景観と相まって、花火の美しさが一層際立ちます。夏の風物詩、越谷の花火を満喫している市民の姿が良く表現されています。



優秀賞「蔵造りの商家」

撮影者：平野 要蔵様
撮影場所：越ヶ谷本町

《講評》

越ヶ谷宿の面影が漂う建物。光を受けて輝く格子戸がきれいです。写真からは、伝統ある建物の維持管理の大変さがうかがい知れます。店先を歩く二人が現在を表現しており、時代を現しています。



優秀賞「はしご乗りの妙技」

撮影者：堀之内 稔様
撮影場所：越谷市役所前

《講評》

街路樹に囲まれて晴天のもと、はしご乗りの演者が技を披露、演技を見守る観衆の姿が写し出されています。越谷の男たちの粋な姿が現れています。



優秀賞「桜との競演」

撮影者：北井 和夫様
撮影場所：相模町水門付近

《講評》

越谷の象徴しらこぼと橋。青空と浮雲を背景にその橋脚は天にそびえ立つような華麗な姿を見せています。画面左の桜が景観に深みを増しています。



入選「春色の綾瀬川」

撮影者：篠 全男様
撮影場所：長島



入選「春が来た」

撮影者：藤谷 明様
撮影場所：葛西用水右岸の歩道



入選「黄金のトンネル」

撮影者：鈴木 孝一郎様
撮影場所：越谷総合公園イチヨウ並木



入選「雨に濡れる参道」

撮影者：伊藤 次夫様
撮影場所：久伊豆神社



入選「残雪模様」

撮影者：高橋 稔様
撮影場所：葛西用水

第7回(平成28年度) 受賞作品



最優秀賞「流通起点」

撮影者：高野 裕一様
撮影場所：南越谷二丁目

《講評》

貨物線として作られた武蔵野線、南越谷貨物鉄道ターミナル。鉄道輸送からトラック輸送に押されさびしくなりましたが、いつまでも残したい場所です。広角レンズを使いターミナルの広さを表した作品です。



優秀賞「神輿還御」

撮影者：堀之内 稔様
撮影場所：久伊豆神社

《講評》

4年ぶりの「越ヶ谷秋祭り」2日目、神様が神社へお帰りになることを「還御」と言います。巫女たちに迎えられ行列が神社に着いた所です。神社のシンボルの大鳥居と神輿、夕暮れの条件の悪い中、綺麗にまとめた作品です。



優秀賞「静寂」

撮影者：豊田 己八様
撮影場所：レイクタウン調節池北側より

《講評》

レイクタウンが出来る前は、田んぼが広がる田園地帯、この様な景色になると誰が思ったことでしょうか。風の無い薄曇りの日の出前、水面に空とビル群が映り込み水上都市のような幻想的な写真です。



優秀賞「夕暮れ時」

撮影者：大沢 誠様
撮影場所：七左町六丁目付近

《講評》

祝い料理には欠かせない「クワイ」。収穫は初冬の寒い中、泥まみれになりながらの作業だそうです。なかなか目に留まらない風景ですが、良く見つけました。



入選「春の石」

撮 影 者：山本 信男様
撮 影 場 所：南荻島文教大学付近



入選「暮れなずむ葛西用水」

撮 影 者：藤谷 明様
撮 影 場 所：葛西用水畔



入選「休日のくつろぎ」

撮 影 者：吉田 弘様
撮 影 場 所：元荒川土手



入選「紅い清澄」

撮 影 者：鈴木 孝一郎様
撮 影 場 所：総合体育館周辺



入選「初夏の朝」

撮 影 者：北井 和夫様
撮 影 場 所：しらこぼと橋右岸

第8回(平成29年度) 受賞作品



最優秀賞「水に遊ぶ」

撮影者：澁澤 菊也様
撮影場所：元荒川平和橋

《講評》

秋になると市役所脇を流れる葛西用水の水が落とされると川底が島のようになり、夏とは違った景色が見られます。暖かい日などは、対岸に渡る飛び石で子どもたちが遊ぶ姿が見られます。水の青さと草の緑がマッチした綺麗な写真です。



優秀賞「久伊豆神社参道」

撮影者：齋藤 滋様
撮影場所：参道入口(越ヶ谷地内)

《講評》

300mもある参道も良く整備され、歩きやすく、数は少なくなりましたが松並木も残り、散歩の途中お参りに立ち寄る方も多いようです。神社のしめ縄で神社をあらわし、参道の奥行きを出した写真です。



優秀賞「静かに暮れゆく」

撮影者：豊田 美徳様
撮影場所：レイクタウン調節池

《講評》

市民の憩いの場であるレイクタウン、調節池の夕焼けを眺める人たちを暗くスローシャッターで水面の波を打ち消して幻想的に仕上げた作品です。



優秀賞「微風(びふう)」

撮影者：山口 欽一様
撮影場所：不動橋附近

《講評》

元荒川の鯉のぼり、年々さかんになり、越谷の風物詩として定着したようです。夕方の黄金色に輝く空とそれを映し出す水面と鯉のぼりのシルエット穏やかな季節を表した作品です。



入選「大聖寺の桜」

撮 影 者：佐藤 紀久子様
撮 影 場 所：大相模不動尊大聖寺



入選「水面」

撮 影 者：三富 信一様
撮 影 場 所：花田苑



入選「雨のキャンベルタウン」

撮 影 者：米田 実代子様
撮 影 場 所：東大沢



入選「華やかな散歩」

撮 影 者：北井 和夫様
撮 影 場 所：健康福祉村



入選「春の花と共に歩く道」

撮 影 者：森野 義弘様
撮 影 場 所：元荒川沿い

第9回(平成30年度) 受賞作品



最優秀賞「コいのぼりまつり」

撮影者：渋谷 健男様
撮影場所：不動橋

《講評》

不動橋下の元荒川にたくさんの鯉のぼりが泳ぐ風景は、越谷市の初夏の風物詩として年々発展し、今では多くの方が参加するイベントとなりました。前面に大きく鯉のぼりを入れ、祭りの様子が良く表現された作品です。



優秀賞「早苗田の朝景」

撮影者：大沢 誠様
撮影場所：七左町七丁目

《講評》

宅地化が進み、市役所から2 km以上郊外に出ないと田んぼが見られなくなりました。田園風景の中で電車を見ていると原風景があらわれるようで心が癒されます。いつまでも残したい風景です。



優秀賞「梅林公園の夕日」

撮影者：佐久間 美智子様
撮影場所：元荒川土手 大袋周辺

《講評》

昼間のにぎわいが落ち着いた夕刻に撮影された作品です。土手の向こうに沈む夕焼けをバックに、子どもの手を引いて帰る二人と、まだ遊びに夢中の子供をシルエットに添えたメルヘンチックな写真です。



優秀賞「花いかだ」

撮影者：北井 和夫様
撮影場所：健康福祉村

《講評》

県民健康福祉村が整備されてから30年が経ち、桜の木も見事な桜並木になりました。満開の時期でも落ち着きがあり、静かにゆっくりお花見が出来ます。水面に映る桜並木と花いかだがきれいですね。



入選「しらこぼと橋」

撮 影 者：藤井 裕一様
撮 影 場 所：相模町



入選「桜の下で」

撮 影 者：佐藤 紀久子様
撮 影 場 所：逆川緑道の新土橋から逆川橋
へ向かう途中



入選「長い影」

撮 影 者：水上 一夫様
撮 影 場 所：元荒川（しらこぼと橋付近）



入選「花田庭園紅葉と小舟」

撮 影 者：黒田 貴一様
撮 影 場 所：越谷市日本庭園『花田苑』



入選「朱に染まる」

撮 影 者：米田 実代子様
撮 影 場 所：キャンベルタウン公園



越谷市 撮影マップ

 最優秀賞  優秀賞・入選



【発行・問い合わせ先】

越谷市 都市整備部 都市計画課

〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号 電話：048-963-9221（直通）

発行日：令和元年（2019年）10月